

5月26日、久賀総合センターにおいて、柳井市にお住まいの川辺浩子さんが、ファーストサイン体験のレッスンを行いました。

ファーストサインとは、手やジェスチャーを使って、まだお話のできない赤ちゃんとコミュニケーションをとる方法です。

川辺さんは「ファーストサインを使って、赤ちゃんと意思疎通ができれば、親子のストレスが解消されます。またファーストサインを通じて、子どもとふれあう機会が増えます。」と説明し、レッスンに参加した保護者の方は、関心を持って聞いていました。

水産資源再生のための 島づくりシンポジウム



▲パネルディスカッションの様子

5月22日、東和総合センターにおいて島づくりシンポジウムが開催されました。基調講演では政策研究大学院大学の小松正之教授が「近年の乱獲により漁獲量は激減しています。これからは漁獲資源の保護に取り組んでください。」と述べました。基調講演の後にはパネルディスカッションが行われ、周防大島の海づくり再生について、参加した会場の皆さんといっしょに活発な意見が交換されました。



▲ファーストサインについて説明する川辺さん

中高一貫教育だより ⑩

周防大島高等学校と、久賀中学校、大島中学校、東和中学校、安下庄中学校の島内4中学校は連携型中高一貫教育を行っております。本年度についても、その取組を紹介していきたいと思っております。

○第1回周防大島地域合同研修会

4月6日(火)に周防大島高校安下庄校舎を会場として、島内四中学校の教員と本校教員が一同に会し、第1回目の合同研修会を開催しました。

まず教科での本年度の課題や懸案事項を協議する教科部会、次に全教員が参加して情報交換する全体会、最後に各分掌ごとの専門部会の順で行い、この研修会で今年度の中高一貫教育の新しいスタートをきりました。

全体会では、各教科部会の代表者による今年度の取組計画の発表を行い、情報交換をしました。



▲全体会の様子

○中高一貫カウンスリング
連携中出身の高校一年次生を対象にカウンスリングを実施しており、入学当初の今回(4・5月)は、連携中学校の旧ホームルーム担任等の教諭が来校して行いました。

高校生活の様子を話す中で入学後の不安や悩みを少しでも解消することで、連携中出身者の高校生活への円滑な移行を実現することを目的とし、カウンスリングを受けた生徒からも大変好評でした。

先生の話を聞いて、成長を感じました。今度こそ、先生と話をしたいです。中学校の先生と話をしたいです。中学校の先生と話をしたいです。中学校の先生と話をしたいです。

○交流授業の始まり

5月6日(木)から、高校から中学校へ、中学校から高校への交流授業が始まりました。教科は、国語・数学・英語・音楽・保健体育で、中高教員のチームティーチングによる生徒一人ひとりに応じたきめ細かな指導を行っています。

■問い合わせ 事務局

周防大島高等学校
☎0820(77) 1048